

日本史演習Ⅱ

2単位 3年(前期), 4年(前期)

衣川 仁・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 日本古代・中世史を考える上で重要な論文あるいは史料を精読・検討し、そこにあらわれた諸問題に対する理解力と思考力を深める。

【授業概要】 日本古代・中世史上の諸問題を考えるために、重要な論文・史料を取り上げて検討する。各回の担当を決めて報告をしてもらい、それをもとに出席者全員で議論していく。

【キーワード】 日本史, 古代史, 中世史

【関連科目】 『日本史演習Ⅰ』(0.5)

【履修上の注意】 あらかじめ担当を決めて報告を受ける演習形式で進める。報告にはレジュメの作成などの準備をする必要があるが、報告の担当者以外にも十分な予習と発言を求める。この授業は、「日本史演習Ⅰ」(桑原教官, 火曜 5・6 講時)と密接に関連させて行い、随時共同授業を行う。日本文化研究サブコースで日本史を専攻しようと思う学生は、両授業を必ず受講すること。

【到達目標】 論文・史料を読解し、それに対する自分の意見(評価・批判)をもつこと。

【授業計画】

1. 取り上げる論文テーマの例としては、以下のようなものを予定している。
2. 中世の社会と国家
3. 武士の成立と展開
4. 中世法と裁判の世界
5. 古代・中世の仏教と民衆
6. 荘園制と村落
7. 東アジア世界の秩序と日本
8. 具体的な論文名は授業の中で示す。また以上のテーマに限らず、学生の関心に基づいて素材を決めたい。

【成績評価】 発表内容、議論への参加度などの平常点、レポートの評価。

【再試験】 なし

【教科書】 論文等は、適宜配布する。指定の論文・史料以外にも、参考となるものを広く読む必要がある。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219287>

【連絡先】

⇒ 衣川 (088-656-7153, kinugawa@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日10時30分~12時)